

## ベスト・シーニックバイウエイズ・プロジェクトの講評

### 《ルート審査委員会による講評》

本表彰制度に登録されたプロジェクトの審査にあたっては、シーニックバイウエイ北海道の推進に向けて、他の模範となるルート活動の積極的な創出、啓発、普及を目的に、活動の持続性、地域への浸透・波及性、ルート運営の基盤強化、ブランド形成や活用、人材育成の充実などの視点から総合的に評価し、各賞の選出を行った。

いずれの取組も、地域の特長の活用と創意工夫が見受けられ、シーニックバイウエイ北海道の持続的推進や発展に貢献する取組と評価できる。

その中から、当該ルートの代表的な取組に留まることなく、他のルートへの波及・展開や今後のシーニックバイウエイ北海道全体のブランド化への貢献なども含め、将来への発展性が高く評価できる取組を「最優秀賞」として推薦するものである。

なお、この受賞をきっかけに、国内外に広く認められるプロジェクトに成長するためのひとつのステップと捉えていただき、今後ともプロジェクトに係わる人材の育成や地域における活動の輪の拡大、定着などに努めていただき、さらなる質の向上や発展へ向けた取組を大いに期待したい。

### ■最優秀賞（ベスト・シーニックバイウエイズ・プロジェクト）

プロジェクト名	学校シーニックバイウエイ
ルート名	南十勝夢街道
選出理由及び今後の発展に向けての期待	
<p>本取組は、継続的な地域活動を実施する上で、最も重要な要素の一つである「人材育成」の取組で、学校授業の枠内に、地域活動を組み込むといった独自性と、コンセプトが非常に良く発展性もある。また、わかりやすいネーミングも評価できる。</p> <p>一方、本取組は平成22年度からスタートした取組で、まだ芽の段階と言えるが、この取組は特に続けることが非常に重要で大切に育てていてもらいたい。</p> <p>平成23年度に実施した他地域（札幌）の子ども達との交流など、内容の充実や質を向上させながら、今後も取組を継続することにより、次世代へ繋がることを期待したい。</p>	

## ■優秀賞

プロジェクト名	地域情報受発信プロジェクト
ルート名	萌える天北オロロンルート
選出理由及び今後の発展に向けての期待	
<p>本取組は、いろいろな地域や団体でも行われている情報発信の取組であるが、いろいろなメディアを有効に使い、継続し、また、ただ発信するのではなくそれらをしっかりと積み上げ質の高いものとなっており、アーカイブとして非常に有益な資料となっている点が高く評価できる。</p> <p>今後は、この取組の成果の一つである自治体ごとの手書きによるオロロンマップなど、これらを活用し更なる地域への貢献を期待する。</p>	

## ■審査委員特別賞(4件)

プロジェクト名	雪のワークショップ
ルート名	大雪・富良野ルート
選出理由及び今後の発展に向けての期待	
<p>本取組は、地域の子ども達に向けて、ウインターサーカスというイベントと連携しながら、「雪」を題材に、授業やアート作品の製作を行い、北国である北海道では非常に身近にあるものだが、なかなかその組成等はよく知られていない「雪」の活用促進や理解を高めている点が高く評価でき、取組開始から7年が経過し、地域へしっかりと根付いてきている点も評価できる。</p> <p>今後、今回試みた観光(ツアー)の要素を加えるなど、活動の幅を広げながら継続していくことを期待する。</p>	

プロジェクト名	礼文島リボンプロジェクト
ルート名	宗谷シーニックバイウェイ
選出理由及び今後の発展に向けての期待	
<p>本取組では、今後各ルートでの地域活動において、自立という観点から必要性が更に高まる基金(ファンド)に関して、しっかりと取組の中で上げた収益を既存の基金に充て、また、この収益を基に新たに基金を創設した点は高く評価でき、他の模範となるものである。</p> <p>また、活動団体単独ではなく地域の行政と一体となって創設している点が、今後の発展に期待が持てる。</p>	

プロジェクト名	はこだて花かいどう
ルート名	函館・大沼・噴火湾ルート
選出理由及び今後の発展に向けての期待	
<p>本取組は、平成16年度から活動しているが、この取組を継続していく中で、単なる植栽活動だけに留まらず、撤去した花苗を微生物やミミズといった生物を利用した堆肥化に取り組み、さらにその過程を環境教育として、地域の子ども達に伝え、次世代の担い手づくりといった広がりを見せており、高く評価できる。</p> <p>また、地域活動を継続するために重要となる補助金(グラント)の積極的な活用も評価でき、今後、この取組の更なる広がりを期待する。</p>	

プロジェクト名	シーニックバイウェイスタンプラリーin南区2011
ルート名	札幌シーニックバイウェイ藻岩山麓・定山溪ルート
選出理由及び今後の発展に向けての期待	
<p>本取組は、平成21年度からの取組で、これまで参加者数などの定量的な把握に努め、年度ごとにしっかりと評価を行い、次年度のスタンプラリーの内容やシートの改善等を行うことによって、参加者数増加や内容の充実が図られている点が高く評価できる。</p> <p>今後も、魅力的な地域資源の情報発信や参加者のニーズ把握に努め、より一層の充実を図り、都市型シーニックバイウェイの先駆者となることを期待する。</p>	